

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームあいちの森

作成日: 平成 29年 12月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15~22	利用者様と家庭的な関係は保っているが 一歩進んだサービスに欠ける可能性がある。 また入居者の入れ替わり時に個人の だけでなく全体の支援作りに目を向ける必 要がある	全ての利用者様にとって何が必要でど んなサービスが良いのか毎日の生活 の中から見つけグループ内で現状維 持＋一歩前進を目標に個々のサービ スに当たる	安全・安心を心掛け生活出来ていること で終わることなく、要望を見つけ周りに フォローをして頂く事でご家族・地域の 方々との連携・理解を深める。ケース会 議で取り上げてユニット全体に目を向ける	12ヶ月
2	30~34	医療連携を構築し、事故・急変・看取り 等において、医療機関・ご家族様との関 わり方の対応など、職員全体の向上。	全職員が同じ知識レベルになれる、全 職種間でしっかり連携し合い情報を共有 する。個々の利用者様に対応できる 知識を身に付ける	ミーティングや個別に研修等の対応を取り 入れることにより、事業所全体の対応力、 実践力の向上に努めていく。職員全員に 向けた、情報提供をしていく。またケース ごとコマめに研修・会議等行って向上して いく	12ヶ月
3	35	地域の人達との協力体制の訓練を強化。 又、夜間に関する避難においては全職員 がしっかり身につける必要がある。	災害に関して、昼夜を問わず、対策を しっかり身に着け、地域の方の協力を 頂けるような対策を身につける。	運営推進会議などの場で、地域の防災対 策を確認し、具体性を深める。訓練等は参 加を呼びかけ協力体制作りを行う。又備品 の準備や確認を定期的に行う。	12ヶ月
4	20	入所当初は人の出入りもあるが徐々に 馴染みの方や交流のあった方が離れて 行かれる状況になる。ご家族様も来 関数が減り傾向がある	ご家族様は月一回は必ず来館して頂く ことになっているがなるべく多くの方 に来館して頂けるようにする	ご家族様にも協力して頂き今まで交流の あった方などに声をかけて頂くなど、また ご家族様自身にも顔を出してもらえよう 情報をお伝えしながらお誘いする	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。